器 26　医療用遠心ちんでん器（未滅菌）
一般医療機器　セル洗浄遠心機　JMDN 35901000

MC480LBC形 自動細胞洗浄遠心機

安全にご使用いただくため、本遠心機取扱説明書記載の「⚠ 安全にお取り扱いいただくために」を必ずお読みください。

【形状・構造および原理等】

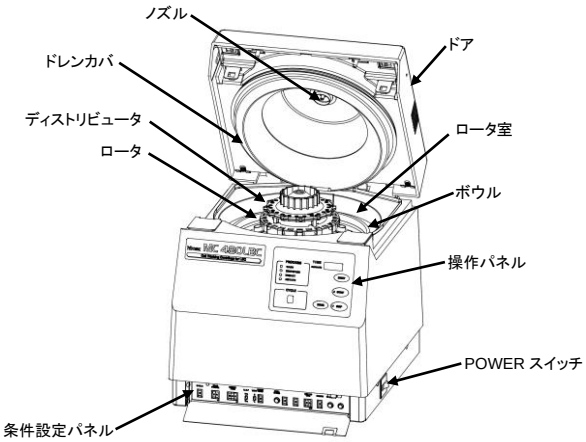

図1. 本体外観

寸法	370(W)X450(D)X410(H)mm
質量	29kg
電源	AC100V　10A　50／60Hz

作動・動作原理：試験管中の液状化細胞検体に精製水を自動注入、遠心処理、精製水の自動排出、試験管の揺動の過程を繰り返すことにより検体細胞を洗浄する。

【使用目的又は効果】

使用目的：

・液状化細胞診断検体の洗浄処理
　液状化細胞診断の細胞標本作成時、検体固定液中からの検体細胞の分離、及び残余固定液の洗浄を目的とする。

【使用方法等】

1.設置方法：設置方法は取扱説明書「据付け」の項に従ってください。

2.使用環境条件：5℃以上 30℃以下の室内

3.使用方法：使用方法の詳細については、取扱説明書「運転」の項をご使用前によくお読みください。
＜通常運転＞の操作方法を以下に示します。

＜通常運転＞

手順	操作
1	タンクに精製水が満たされていることを確認する。
2	パワースイッチを ON する。
3	ドアを開け、検体が入った試験管をロータにセットする。
4	ドアを閉め洗浄回数をセットし、START ボタンを押す。
5	洗浄回数が「0」になるか、又は STOP ボタンを押す。
	ロータが停止する。

【使用方法に関する使用上の注意】

詳細については取扱説明書をご使用前によくお読みください。

・ 爆発性、引火性のある試料は使用しないこと。
・ 本体を接地せずに使用しないこと。
・ 回転中は本機の周囲 30cm 以内に立ち入らないこと。
・ 回転中は本体を動かしたり、移動しないこと。
・ ロータ室内に落とした物やチューブの破片は必ず取り除いてから運転すること。
・ ロータ、アダプタは使用前によく点検し、腐食したり傷やひびの入ったものは使用しないこと。
・ サンプルはインバランスにならないようにロータにセットすること。
・ 細胞標本作成に最適なプロトコルは検体や使用する試薬等により異なるため、必ず事前に予備試験を行い、最適な条件を設定すること。
・ 本体の修理・分解は当社のサービス担当もしくは当社が認定した者以外は絶対に行わないこと。
・ 本体に異常が生じた場合は、本体の使用をただちに中止して販売店もしくは当社のサービス担当に連絡してください。

【保守・点検に係る事項】

・ チャンバ内に洗浄液を溜めたり、ホースで水道水等をデカントコイルにかけることは、行わないでください。装置内部に液が浸入し故障の原因となるおそれがあります。
・ 保守・点検の詳細については取扱説明書「保守」の項を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社
茨城県ひたちなか市武田1060番地
029－276－7380

製造業者
エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社
茨城県ひたちなか市武田1060番地
029－276－7380

S99867004

取扱説明書を必ずご参照ください。